

兵庫県の制度に加え、西播磨地域では独自に就農体験制度を設けています。



雇用や独立など

スタイルも作物もさまざま。

# 西播磨地域で就農した先輩たちを紹介します！

自分で作ったぶどうでワイン造り。  
新たな地域の特産品になることを目指して。

小さな頃から祖父のぶどう栽培を身近で見てきたので、自分も就農を目指すように。実際始めてみると、経営計画をもっとしっかりと立てておくべきだったという反省もありますが、自分の夢に向かって奮闘することはできていると感じています。栽培技術で悩むことは多いので、ぜひ相談できるベテラン農家とのつながりを、地域の担い手として期待されているので、地域での人付き合いも大事にしています。

しらはた農園MOTO 田中源道さん  
就農形態：独立・1ターンの  
主な品目：ぶどう（生食用・ワイン用）

上郡町  
Kamigori-town



太子町  
Taishi-town



TAiSHi farm 栗岡弘明さん  
就農形態：独立・Uターンの  
主な品目：いちご

太子町に人を集めたいから。  
いちご狩りができる観光農園に挑戦。

「生まれ故郷の太子町を人が集まる町に」と思い、いちご狩りのできる観光農園をするために就農を決めました。ただ、施設園芸は露地作物に比べるとやはり金額が大きくなってしまいますので、ある程度貯金をするなど、就農初期の資金集めには苦労しました。これから就農するなら、ハウスの構造・栽培様式など、いろんなところを見に行っておくと、自分に合った農業のイメージができるのでおすすめです。

雇用就農から独立へ。  
親方には今でも  
お世話になっています。

相生市  
Aioi-city

飛燕ファーム 松田龍児さん  
就農形態：雇用→独立  
主な品目：大豆、野菜（白菜、キャベツ、ブロッコリー、スイートコーン）



地元で独立して何かしたかったことがきっかけで農業に興味を。雇用就農を経て、独立就農したことで、近隣農家とのつながりや関係性ができました。また農業未経験であったため、作業を一から教えてもらえてとても良かったと感じています。独立した今も、栽培技術で悩んだ時などは親方に相談させてもらってます。農業は仕事である以上、数字も追わなければいけませんが、楽しい仕事だと思っています。



半分雇用、半分独立。  
親方の元で働きながら自分の牛も育てたい。

以前から農業に興味があり、まずは研修を受けてみようとして農業大学校に。その後、和牛農家に就農しました。雇用就農は社会保険なども充実した環境で農業ができるので、安心・安定という面や、独立に向けて技術習得できるという利点も。今は半分独立させてもらい、自分の牛も少しずつ増やしていきたいと思っています。独立すると責任も大きくなり、人手の確保や規模拡大のタイミングなど苦労はありますが好きな農業はできています。

杉田牧場 杉田真人さん  
就農形態：雇用→雇用・独立  
主な品目：繁殖和牛、水稻

宍粟市  
Shiso-city



卸業者から生産者に。花苗生産から  
販売の企画立案まで実践してます！

前職の花苗卸売業者時代に面識のあった農業者から第三者継承を声がけいただきました。最初は農業をすることは考えていませんでしたが、自分なら前職を活かしたやり方ができるかもしれないと、継承を決心。ただ研修を受けなかったため、最初の頃は技術や経理がわからず苦労しました。最近は発信・販売方法など、頭を使って経営することも重要。厳しい時ほどチャンスと捉え、諦めずに考え続けています。

Y's Loop 竹内康久さん  
就農形態：独立・1ターンの（第三者継承）  
主な品目：花壇苗

たつの市  
Tatsuno-city



▲丸尾さん（写真手前）と元・研修生の塚本さん、栗岡さん、構さん

成功するためには栽培技術と販売センスが必要です。

—— まるおファーム 丸尾友明さん（赤穂市）／主な品目：いちご  
農業の現実はかなり厳しい。だからこそ成功するためには栽培技術と販売センスが必要です。自由は多いですが、農業は仕事であるという気持ちを持って臨んでほしいです。

研修生の声

栽培技術はもちろんですが、近隣農家との人脈も。研修後も頻繁に連絡を取り、栽培や販売について相談させていただいています。



雇用就農で地域一の大規模農業を。  
栽培だけでなく地域の付き合い方も  
学ばせてもらってます。

赤穂市  
Ako-city

実家は兼業農家のため農業に馴染みもあり、体力にも自信があったので、就農に至りました。収入を得ながら勉強できるのが雇用就農の良さ。栽培だけでなく、地域の習わしや付き合い方なども学ばせてもらってます。就農前の反省点としては、作目によって仕事内容が全く異なることや、

地域農業についてもっと知っておくべきだったということ。これから始める方にはどんな形でも農業を経験しておくことをおすすめします。

Sunny&Grass 白石元記さん  
就農形態：雇用・1ターンの  
主な品目：水稻、麦、野菜（スイートコーン、玉ねぎ等）

祖父の代から続く米づくり農家。  
作業とリスク分散のために  
野菜づくりにもチャレンジ。

祖父の跡を継いで農家に。最初は雇用就農で、給料は保証されていてリスクは少ないので、挑戦しやすかったです。祖父の代は水稻や麦、大豆だけでしたが、白菜やスイートコーン、ブロッコリーなどの栽培にもチャレンジ。農業はものを作るだけでなく、売れて初めて生業となるので、経営者としての力も必要だと痛感しています。イメージ通りにいかず苦労すること多いですが、やりがいはあると思っています。



山本営農 山本優時さん  
就農形態：親元就農  
主な品目：水稻、大豆、野菜（白菜、スイートコーン、ブロッコリー）

佐用町  
Sayo-town

西播磨には新規就農者を見守ってくれる「親方」がいます！

就農の形を場所で決めるのか、作物で決めるのか。

—— 藤東芳光ぶどう園 藤東芳光さん（佐用町）／主な品目：ぶどう  
場所か、作物か。何を軸にするかで、就農の形もかなり変わります。綿密な計画もその通りに進まないことも。まずは研修を通して将来の就農の形を見定めてください。

研修生の声

販売や接客の練習もできて、コミュニケーションスキルも。実際の作業を通して身体で覚えたことは、就農してからも活かしています。